



球都桐生歴史館

“野球が息づくまち” 桐生の球史を常設展示
栄光の軌跡を未来へつなぐ、球都のシンボル

現代野球にも通ずる影響を与えた名將・稲川東一郎氏のもと甲子園常連校となり、今なお群馬県内最多の甲子園出場歴を誇る桐生高校や、平成11年夏の甲子園で県下初の優勝校となった桐生第一高校など市内に5校もの甲子園出場校を擁し、桐生新川球場（現・新川公園）では戦後初のプロ野球の試合となる東西対抗戦が開催されるなど、野球は古くから桐生の地に根差し、地域に活力を与えてきた。栄えある「球都」の歴史はかつて期間限定の展示会などで語られてきたが、常設展示を望む声が高まり、令和7年8月、旧桐生南高校の跡地を活用したレンタルスペース「KIRINAN BASE」（キリナンベース）の一角に「球都桐生歴史館」を開設。スポーツを起点に地域振興に取り組む（一社）桐生南スポーツアカデミー（荒木重雄代表）が運営を担い、貴重な資料とともに、球都桐生の歩みを未来へ伝える。

フィールドを模した展示室に入ると、まずは桐生における野球の歴史を網羅した年表でこれまでの歩みを辿り、続くコーナーでは球都の礎を築いた稲川東一郎氏を、貴重な自筆資料も交え紹介。「ID野球の先駆け」と言える緻密なデータ収集や、当時珍しいフィジカルトレーニングなど、先進的な手法を取り入れ強豪校に導いた「知将」の姿を今に伝える。他にも市内各高校のユニフォームや実績、さらに学生・社会人・プロ野球など各カテゴリーでチームを日本一に導いた、桐生が生んだ名將の軌跡などを紹介。桐生新川球場を偲ぶコーナーに続く一角では今後を担う若い世代をフィーチャーし、今まさに進行中の物語として描き出す。新たな歴史物の収集を続けつつ、今後、市内高校野球の歴史展など、様々な企画展も開催する予定。桐生野球の「集積地」として、百年を超える“野球のまち”の威信を、未来に向けて語り継いでいく。

【球都桐生歴史館】

- 住所／桐生市広沢町3-4193 KIRINAN BASE
- 電話／0277-53-2510 ●入館料／無料
- 営業時間／10：00～17：00（最終入館16：30）
- ※事前予約制（電話にて受付）
- 休館日／月曜日・年末年始（他、臨時休館あり）
- HP／<https://kiriyubaseball-archives.kmsa.jp/>
- @kyutokiryu_museum